

## 住民からの声

栄養過多の地球・日本そして我が家も、処理不可能となる程のごみを生産しています。

なぜごみを捨てるのでしょうか？嫌うのでしょうか？排出という言葉がイメージを悪くしているのでしょうかね。

でも、ごみが最終形ではありませんよね。本当に処理できない物ですか？私は、使命感をもってリサイクルしている訳ではありませんが、自分で出来る事はやっていこうと考え始めました。汚れた体を流すように、自然もきれいにしたいから。



高根沢町在住  
榎山 和幸さん

### 我が家のリサイクル



塩谷町在住  
田代 セイさん

- ①古布（木綿）⇒用途に合った「ひも」を作る。  
※伸縮がよいので古紙などをしぼるのに最適。
- ②古紙⇒レシート等、小さい紙は紙袋にためておく。  
きれいな紙は、古紙として全部出す。
- ③トレーは色別に分けてスーパーへ。
- ④コンポスト⇒腐る物（野菜くず・糠・雑草・石灰・木の葉・その他）なら何でもよい。満杯になったら、土を入れ長く置く。  
※工夫・やる気・実行で、ごみ減量をする方がひとりでもふえることを願います。

家から排出される「生ごみ」について調べてみたところ、ごみ焼却場に運び込まれる年間の可燃ごみ成分の約半分が生ごみから出る「水分」だそうです。想像を絶するこの排出量に驚きを隠せませんでした。

「生ごみの入った袋をぎゅーっと絞ってから捨てる」、といった家庭内で出来る簡単なことからでも、ごみ問題に多大な効果を発揮します。

まずは、個人のごみ減量化に対する意識の改革が現状の問題を解決する最大の打開策になるのではないのでしょうか。



氏家町在住  
吉澤 昌雄さん

## 平成17年2月1日から 事業系ごみの排出方法が変わりました

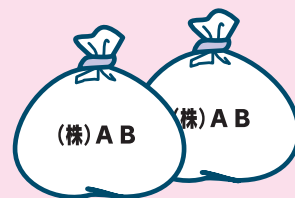
ごみの分別推進と不正搬入を防止するため

**透明・半透明袋への事業所名の記入をお願いいたします。**

### 《記入例》

※事業所名はマジック等で記入して下さい。

※定期的な搬入ごみ検査を実施いたします。



「ニュースレター」及び「ごみ処理行政」に対するご意見・ご提案をお気軽にお寄せください。また、塩谷広域行政組合のホームページも開設しております。

※ホームページアドレス <http://www.shioyakouiki.or.jp/>

問い合わせ先

〒329-1572 栃木県矢板市安沢3622番地 1

塩谷広域行政組合

次期ごみ処理施設整備担当 阿久津・鈴木・印南

TEL 0287-48-2760 FAX 0287-48-0463